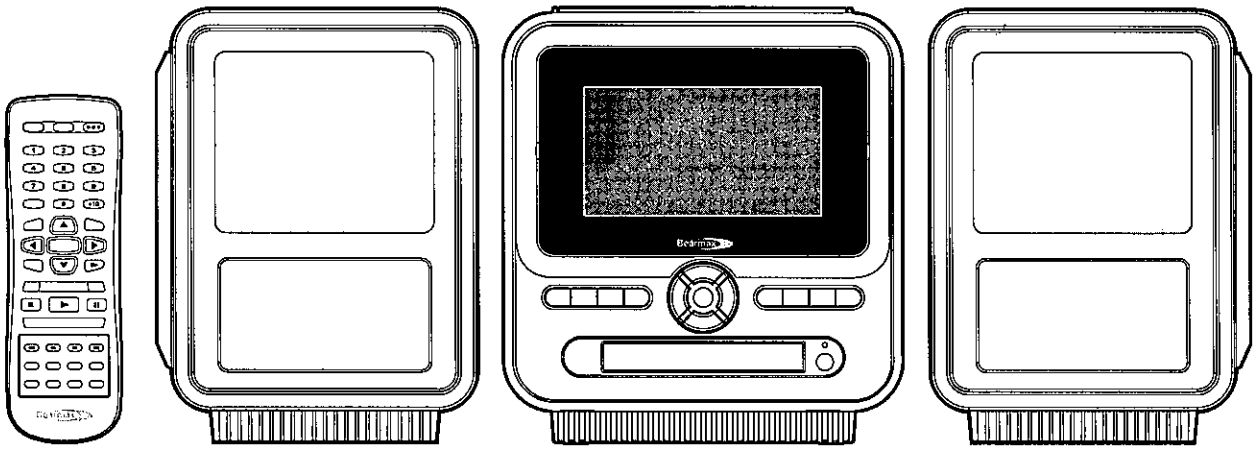
取扱説明書

Bearmax

Bearmax
TV付DVDミニコンポーネントシステム
MODEL : MVS6950T



DVD VIDEO　DOLBY DIGITAL　COMPACT disc DIGITAL AUDIO　CD-R/RW　DIGITAL PHOTO　TV TUNER　FM/AM TUNER

●このたびはBEARMAX TV付DVDミニコンポーネントシステム
「MODEL:MVS6950T」をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
●本品を正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は保証書と共に大切に保管してください。
●保証書には、必ずお買い上げ店、お買い上げ日等の記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。記入がない場合は保証の対象にならない場合がありますので充分ご注意下さい。

株式会社クマザキエイム

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。

⃠ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

●100V以外禁止

交流100V以外の電圧では使用しないこと。自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

●ACコードをコンセントから抜く

雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●禁止

ACコードを傷つけないこと。コードが破損し、火災・感電の原因になります。

●分解禁止

この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

●禁止

CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

●水ぬれ禁止

近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

●禁止

内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものをいれないこと。火災・感電の原因となります。

●ぬれ手禁止

ぬれた手でACコードの抜き差しをしないこと。感電します。

●禁止

本体背面の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

●点検・修理

万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料)。そのまま使用すると火災等の原因となります。

●乾電池は同一の新品を使用

仕様の異なる電池や使用した電池を混ぜて使用すると、液漏れにより汚損や故障の原因になります。

⚠ 注意

●禁止

ぐらついた台や傾いた所に置かないこと。落下しケガ・故障の原因になります。

●禁止

温度の異常に高い場所で使用しないでください。通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因となることがあります。

●禁止

調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になることがあります。

●禁止

駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しないでください。樹脂部品の変形の原因になります。

●ACアダプターをコンセントから抜く

長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

●乾電池を取り出す

長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。万一の液漏れによる故障を防ぎます。

●禁止

電源を切る前には音量を下げること。再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

本機の概要

●本機は出荷時に以下の設定になっていますので、もし、変更される場合は"初期設定"に従い、設定し直してください。
・NTSC—日本のテレビ方式
・日本語表示—画面表示が日本語(一部英語表記)

●本機は以下のディスクおよび音楽ソースに対応しています。記録方式によっては再生できない場合もあります。
・DVD(片面/両面)(一層/二層)
・VCD・CD・MP3・ラジオ

本機で再生できるディスクの種類

●本機は以下のディスクをアダプター無しで再生できます。

DVDビデオ	DVD-R	DVD-RW	
ビデオCD	CD-ROM	CD	MP3

※ビデオモードで記録したDVD-RWディスク(Ver1.1)・DVD-Rディスク(Ver2.0)は再生可能です(ピックアップの状態、ご使用のディスクとプレーヤーとの相性によって、再生できない場合があります。またVRレコーディングフォーマットで記録したディスクは再生できません)。

●DVDビデオのリージョン番号について(地域番号)
・発売地域ごとにDVDビデオのソフトと再生機器に割り当てられた番号をリージョン番号と呼びます(本機のリージョン番号は「2」です)。
・本機は「2」、「ALL」、「2」を含むものが表示されたDVDビデオを再生できます。

●本機で再生できないディスク
・本機のDVDプレーヤーではDVD-RAMなど、再生できないものがあります。

●コピーコントロールCD
・本機のDVDプレーヤーでは音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

●JPEGの再生
・JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機ではコダックピクチャーCD、またはCD-R・CD-RW・CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方式によって再生できない場合があります)。
・ISO9660レベル1・レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張子フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。
・JPEGファイルには".jpg" ".JPG"の拡張子がつきます。

●MP3の再生
・MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3という形式で圧縮した音楽データです。
・ISO9660レベル1、レベル2のCD-ROMファイルシステム、
・MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHzで記録されたファイルに対応しています。これ以外で記録されたファイルは再生できません。
・可変ビットレートには対応していません。
・"mp3"または"MP3"の拡張子がついていないファイルは再生できません(拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類をあらわす文字です)。

DVD・CD-Rに表示されているマークについて

●DVDやCD-Rのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像や音声のタイプ・機能をあらわしています。

DTSデジタルサウンド　ドルビーデジタルサウンド　アングル数

●DTSデジタルサウンド
DTSとはデジタルシアターシステム(Digital Theater System)の略で、5.1chのデジタルサラウンドの録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式です。DTSデコーダーを搭載した機器と接続するとDTSの音声を楽しめます。
●ドルビーデジタルサウンド
DVDの標準音声タイプのことで、モノラルやステレオで記録されているソフトであれば、5.1chサラウンドで記録されているものもあります。ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)で記録されているソフトでは、それぞれ5つのチャンネルごとに音声が記録されていて、サブウーハーから出力される低音も記録されています。本機を5.1chプロセッサーつきAVアンプと接続することにより、臨場感あるマルチチャンネル再生を楽しむことができます。
●アングル
複数台のカメラで撮影したソフトを再生する時にアングルを変えて見ることができます。中の数字はアングル数を表しています。
●本機のDVDプレーヤーはDVDフォーマットに準拠したマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。
マークは、DVDビデオディスクの統一マークです。
マークは、音楽用CDの統一マークです。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
DOLBY・ドルビー・およびダブルDマークはドルビーラボラトリーズの商標です。
DTS・DTSデジタルサラウンドはデジタルシアターシステム社の登録商標です。
DVDは商標です。

●ディスクに関する用語について
一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。ビデオCD/音楽用CDは「トラック」で区切られています。
【タイトル】DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
【チャプター】タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
【トラック】ビデオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。
それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャ

本機の取扱いについて

●極端な湿度、日差しの強い場所には放置しないでください。
●窓を閉め切った自動車内での放置はしないでください。
※本機の変形や、ディスプレイが故障する原因となります。また0°以下、40°以上になると、液晶パネルの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。(使用温度の目安:0℃～40℃)

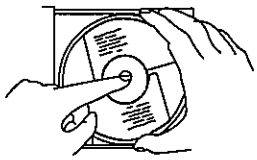
結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱い上のご注意

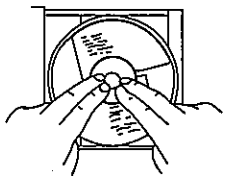
●ケースからの出し入れは

センターホルダーを押さえ



再生面に触れないように
持って取り出します。

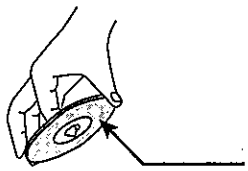
印刷面を上にして…



上から押さえて入れます。

●ディスクの取扱いかた

■再生面には手をふれないでください。



再生面

●ディスクの保管のしかた

■直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。

■ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

●本機を持ち運びするときは

■ディスクを必ず取り出してください。
入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスク使用上のご注意

●ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像のみだれや音質低下の原因となります。柔らかい布で、放射状に軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

●シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。

●再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

●ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

●ディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。

●ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

●再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

●CD-R/CD-RWに記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。

●コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

お手入れのしかた

●本体
本体は、乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞ってふいてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください(変色や変質の恐れがあります)。

●DVD/CD/MP3プレーヤー・レンズ部のクリーニング
※クリーニングの前に必ず電源を切ってください。
レンズの汚れが原因で音飛びが起きたり、演奏ができなくなった場合にクリーニングしてください。
◎ゴミやほこりがついた場合
市販のブロワーでレンズを2，3回吹き、ブロワー先端のブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。
◎指紋などがついた場合
ブロワーで汚れがとれないときには、市販のレンズクリーナー液を綿棒につけ、レンズの中心から外側に向かって円を描くように拭いてください。

※ご注意
クリーナー液を綿棒につけすぎないようにご注意ください。クリーナー液が本体内部に流れ込むと、故障の原因になります。
レンズは軽く拭いてください。綿棒を強く押しつけると、レンズに傷がつくことがあります。

はじめに

安全上のご注意	2
ご使用の前に	3～4
付属品	5

準備

各部の名称と機能	6～7
本体部	6
リモコン部	7
リモコンの使い方	7
設置・接続	8～9
本体のセッティング	8
外部機器への出力	8
基本操作	9

DVD/CDを観る、聴く

ディスク再生の操作	10～13
システムセットアップ	11
MP3を再生する	13
写真データを再生する	13

ラジオを聴く

ラジオの操作	14

外部機器からの入力

外部機器との接続、操作	14

テレビを観る

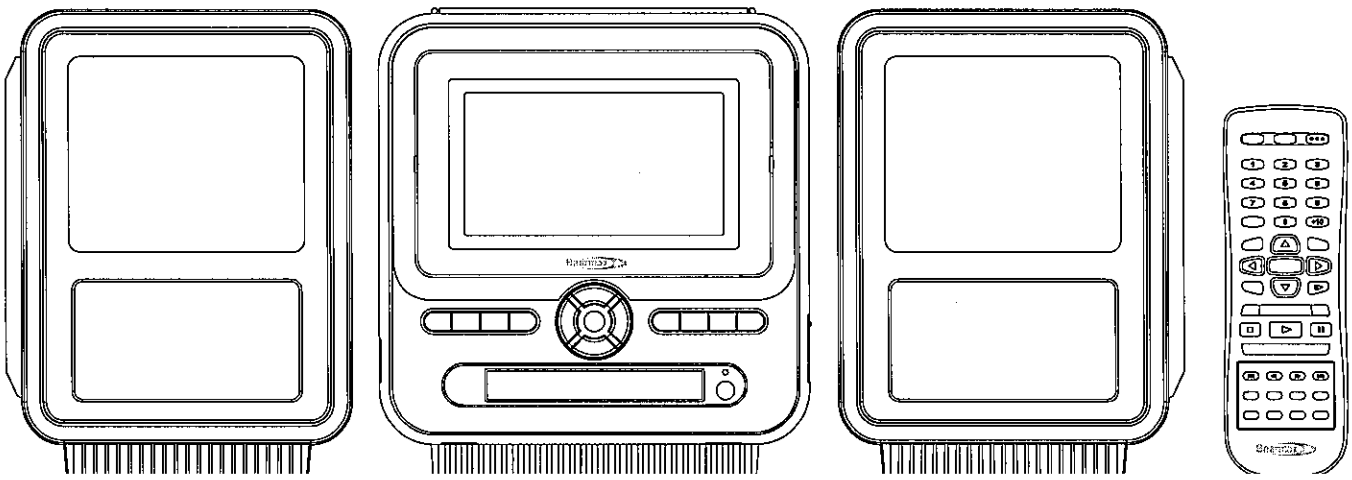
テレビの操作	14

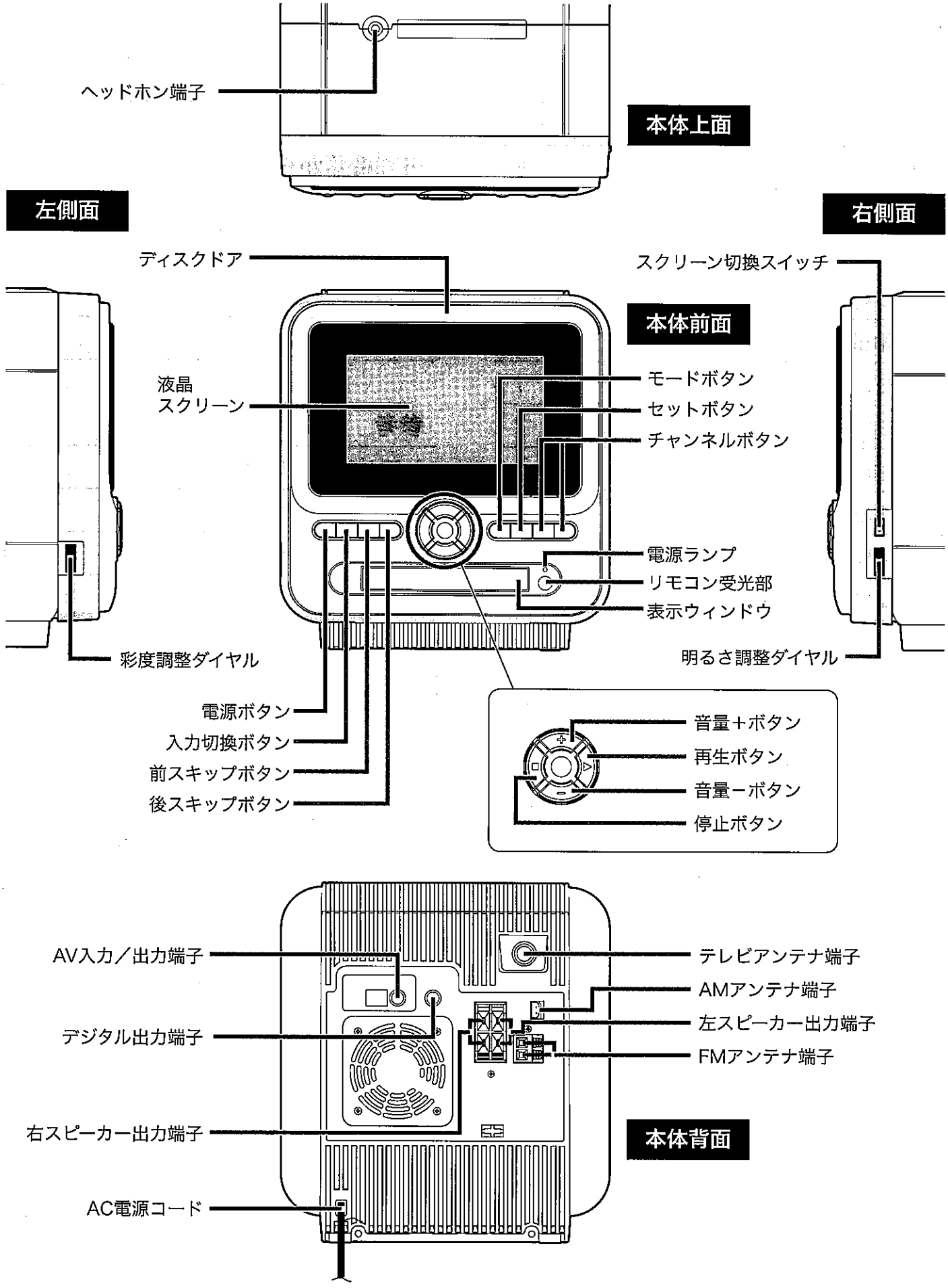
参考

故障かな？と思ったら	15
主な仕様	16
保証とアフターサービスについて	16

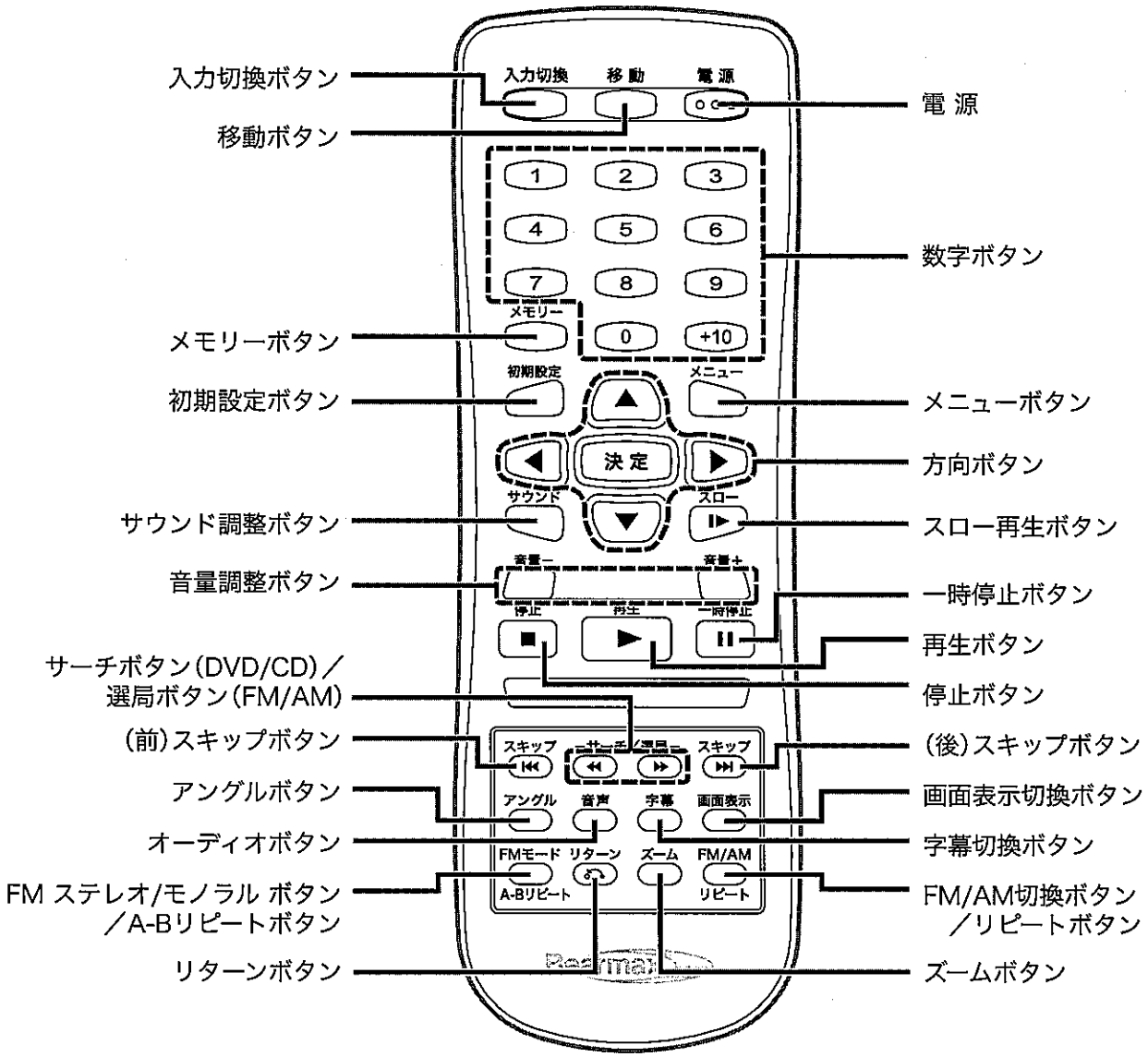
付属品

- FMアンテナ
- AMアンテナ
- ビデオ／オーディオケーブル
- リモコン
- リモコン用単４乾電池（２本）




ヘッドホン端子
本体上面
左側面
右側面
ディスクドア
スクリーン切換スイッチ
本体前面
液晶
スクリーン
モードボタン
セットボタン
チャンネルボタン
電源ランプ
リモコン受光部
表示ウィンドウ
彩度調整ダイヤル
明るさ調整ダイヤル
電源ボタン
入力切換ボタン
前スキップボタン
後スキップボタン
音量＋ボタン
再生ボタン
音量－ボタン
停止ボタン
AV入力／出力端子
テレビアンテナ端子
AMアンテナ端子
デジタル出力端子
左スピーカー出力端子
FMアンテナ端子
右スピーカー出力端子
本体背面
AC電源コード

リモコン

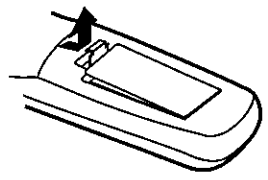


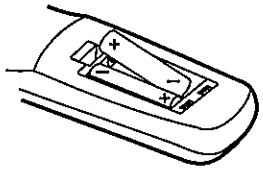
乾電池の入れ方

① リモコンの裏面にある電池カバーケースのつまみを矢印の方向に持ち上げて開けます。

② 単４乾電池２本を、＋プラス/－マイナス表示のとおりに入れます。

③ 電池ケースカバーを元に戻します。





リモコンの使い方

・リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

・リモコンセンサーの受光範囲は、本体のリモコンセンサー

ご注意

※ 乾電池は、＋プラスと－マイナスの向きを間違えないように正しく入れてください。

※ 乾電池は必ず新しいものをご使用ください。

※ 新しい乾電池と何回か使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

※ 種類の異なる乾電池（メーカーや品番が異なるもの）を混ぜて使用しないでください。

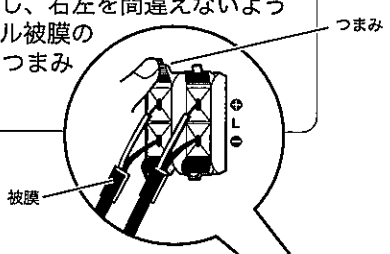
※ 乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をご確認ください。

※ 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出してください。万一、乾電池から液漏れが起こった場合は、電池ケースについた液をよく拭き取り新しい乾電池を入れてください。液漏れ後の放置時間によって内部が故障する恐れがあります。

※ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

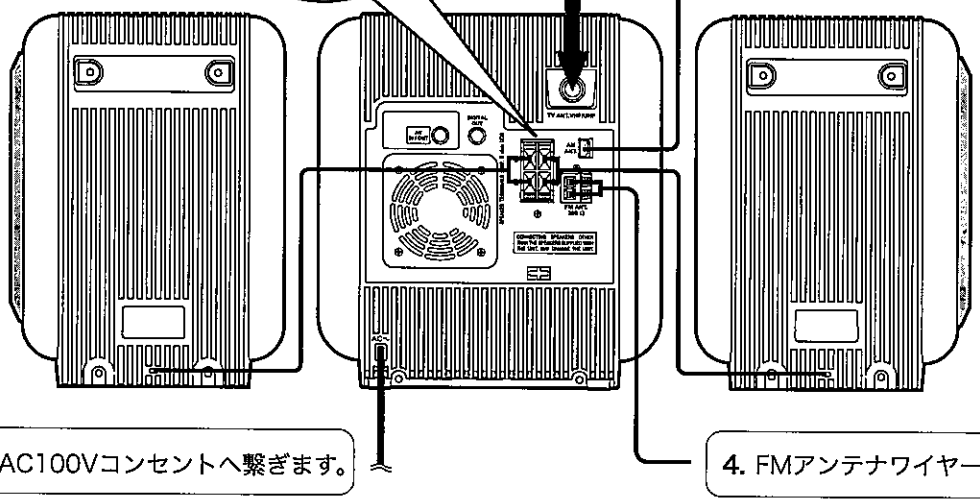
本体のセッティング

1. 左右のスピーカーを接続します。本体背面にある端子のつまみをすべて倒し、右左を間違えないよう赤／黒それぞれのケーブル被膜の手前まで差し込んだ後、つまみを起こし固定します。



2. TV アンテナ（別売）を繋ぎます。

3. AMループアンテナ(付属品)を繋ぎます。



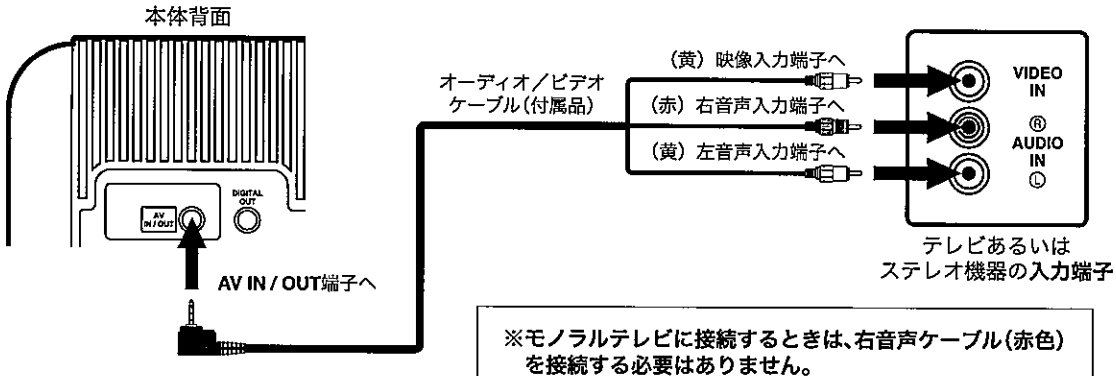
4. FMアンテナワイヤー(付属品)を繋ぎます。

5. 電源コードをAC100Vコンセントへ繋ぎます。

外部機器へ映像・音声を出力する

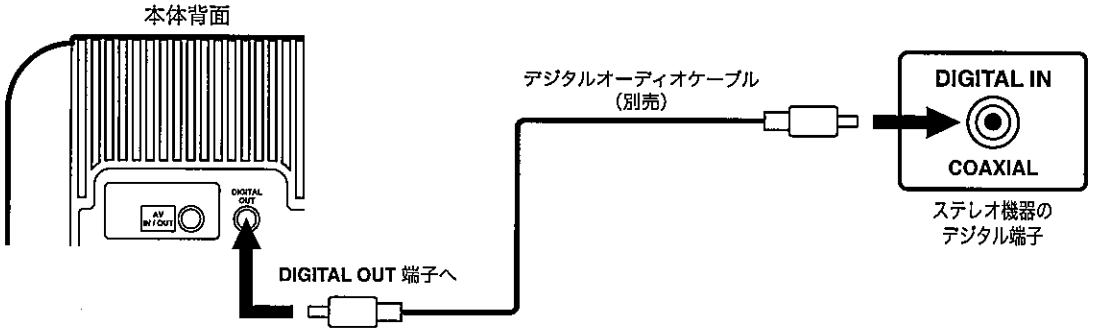
（外部機器から映像・音声を入力する方法は、14ページをご覧ください。）

アナログ接続



※モノラルテレビに接続するときは、右音声ケーブル(赤色)を接続する必要はありません。

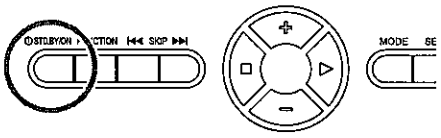
デジタル接続



基本操作

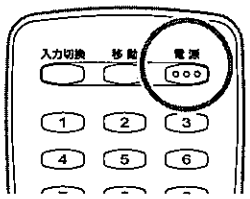
電源の入/切

本体での操作



[STANDBY]ボタンを押してください。

リモコンでの操作

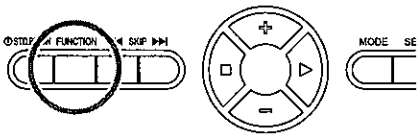


[電源]ボタンを押してください。

入力切換

ディスク再生
ラジオ
外部入力
テレビ
の順に切換わります。

本体での操作



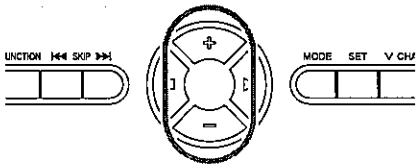
[FUNCTION]ボタンを押してください。

リモコンでの操作

[入力切換]ボタンを押してください。

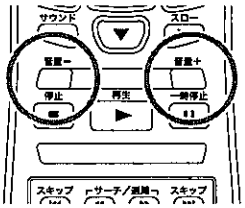
音量の調節

本体での操作



[+][−]ボタンを押してください。

リモコンでの操作



[音量+][音量−]ボタンを押してください。

ヘッドホンを使う

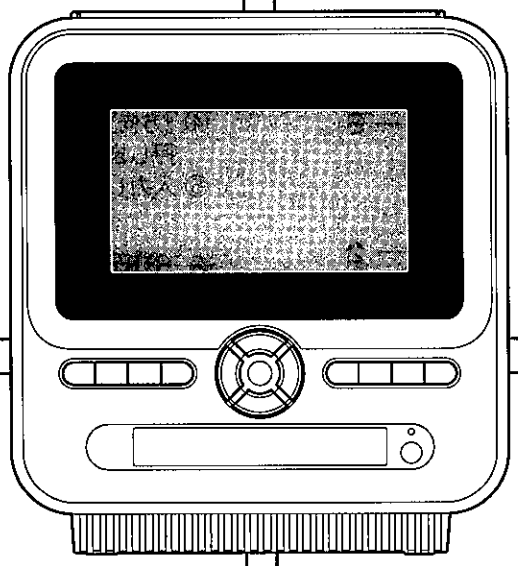
ヘッドホン(別売)を本体上面のヘッドホンジャックに差してお使いいただけます。

ステレオミニプラグ対応

画面サイズの切換

右側面のスイッチで、画面のサイズを切換えることができます。

OFF:画面表示を消します。
WIDE:フル画面表示です。
NORMAL:縦横比率3:4に詰めて表示します。



左側面のダイヤルで、映像の鮮やかさを調整できます。

画面の鮮やかさの調節

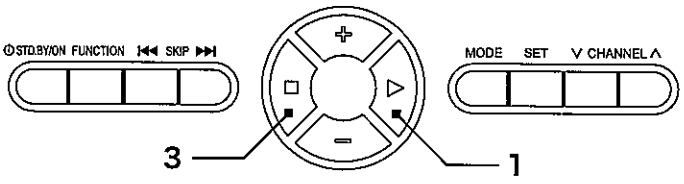
右側面のダイヤルで、映像の明るさを調整できます。

画面の明るさの調節

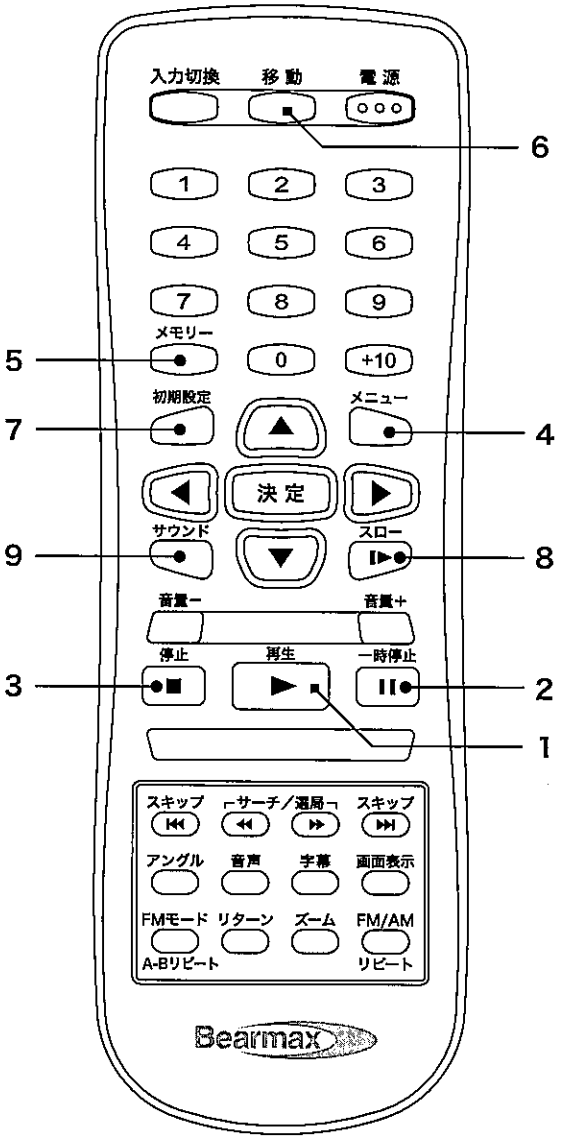
DVD/CDを再生するには

① 本体前面の[FUNCTION]ボタンもしくはリモコンの[入力切換]ボタンを押して、DVDに合わせます。
② ディスクドアを手前に開きます。
③ ディスクを「パチッ」と音がするまではめてセットし、ディスクドアを閉じます。
④ 画面に「読み込み中」(表示ウィンドウには「LOAD」)が表示され、自動的に再生が始まります。

本体での操作



リモコンでの操作



1. ディスク再生

停止中に[再生]ボタンを押すと、DVD/CDが再生されます。

2. 一時停止

① 再生中に[一時停止]ボタンを押すと一時停止します。
② [再生]ボタンを押すと再び再生が始まります。

3. 停止

再生中に[停止]ボタンを押すとディスクが停止します。

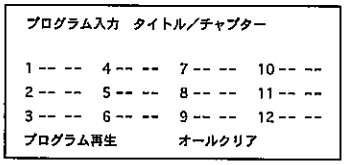
4. DVDメニュー再生*

① [メニュー]ボタンを押し、DVDのメニューを表示させます。
② リモコンの[方向]ボタンでお好みのメニューを選択します。
③ [再生]ボタンもしくは[決定]ボタンを押すと、再生を始めます。

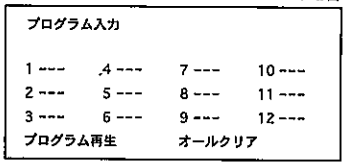
5. プログラム再生

① [メモリー]ボタンを押すと下図がTV画面に表示されます。

DVDの場合



VCD/CDの場合



② リモコンの[方向]ボタンで設定したい再生順番号に移動させます。
③ [数字]ボタンで再生したいタイトルとチャプター(VCD/CDの場合はトラック番号)を入力します。
④ [方向]ボタンで「プログラム再生」に合わせ、[決定]ボタンを押します。
⑤ 入力した順番で再生を始めます。

6. 移動再生

【時間/チャプター(/トラック) サーチ】
① [移動]ボタンを1回押すとサーチ画面が表示されます。
② [方向]ボタンと[決定]ボタンでディスク上の時間もしくはチャプター番号(VCD/CDはトラック番号)を選択します。
③ [数字]ボタンでいずれかを入力します。
④ 決定ボタンを押すと、入力した時間/チャプター(/トラック)から再生を始めます。

【ブックマーク再生】
① [移動]ボタンを2回押すとブックマーク画面が表示されます。
② [方向]ボタンで1〜3のブックマークを選択し、再生中に[決定]ボタンを押してその時点をブックマークに登録します。
③ [方向]ボタンでブックマークを選び決定ボタンを押すと、登録した時点から再生を始めます。
④ ブックマークはディスクを再度読み込むまで記憶されます。

*マークのついた機能は、VCDやCDではご利用になれません。

7. 初期設定*

停止時に押すことで初期設定メニューになります。
（下欄枠内をご参照ください。）

8. スロー再生*

再生中に押すとスロー再生をします。
1度押す：1/2のスピードで再生（表示：▮▶1/2）
2度押す：1/4のスピードで再生（表示：▮▶1/4）

***マークのついた機能は、VCD/CDではご利用になれません。**

9. サウンド調整

サウンドボタンを押し、音響調整が出来ます。
1度押す：左スピーカーの音量調整（表示：LEFT）
2度押す：右スピーカーの音量調整（表示：RIGHT）
（上下方向ボタンで＋ー各10段階に調整できます）
3度押す：音響モード(イコライザ)選択
（上下方向ボタンでお好みの音響を選べます）
E ROCK：低・高音域が強調されます。
E POP：中音域が強調されます。
E JAZZ：中・低音域が強調されます。
E BOOST：全体の音圧を上げます。
E OFF：イコライザをオフにします。

初期設定

ディスクが停止している状態で[初期設定]ボタンを押すと、初期設定画面が表示されます。[方向]ボタンの左右で項目を選択し、[決定]ボタンを押すことでそれぞれの設定メニューになります。その後も同じく上下左右の[方向]ボタンと[決定]ボタンを使って設定を進めてください。もう一度[初期設定]ボタンを押すと元の状態に戻ります。

言語 | ビデオ | オーディオ | レベル設定

English 操作の案内表示が英語になります。

日本語 操作の案内表示が日本語になります。

言語 | **ビデオ** | オーディオ | レベル設定

TV画面形状 他のテレビへ映像を出力する場合の画面サイズを設定します。

- **パンスキャン**：通常の画面（縦横比3:4）サイズ。ワイド映像を再生するときは、画面の左右が切り取られます。
- **レターボックス**：通常の画面でワイド映像を観るときに。画面の上下に黒い帯が出ます。
- **ワイド**：ワイド画面（縦横比16:9）でワイド映像を再生するのに最適です。

明るさ 再生する映像の明るさを調整します。

- **オフ：通常の明るさです。**
- **オン：映像がより明るくなります。**

シャープ 再生する映像の鮮明さを調整します。

- **オフ：通常の鮮やかさです。**
- **シャープ：映像がより鮮明になります。**
- **ソフト：映像をやや柔らかな印象にします。**

言語 | ビデオ | **オーディオ** | レベル設定

デジタル出力 出力先の機器に応じて設定します。

- **ビットストリ(ビットストリーム)**：ドルビーデジタル対応機器へ接続するときに選択します。
- **PCM**：通常のステレオ機器へ接続するときに選択します。

Pink Noise 音響測定用のノイズです。
一般の使用とは関係ありません。

言語 | ビデオ | オーディオ | **レベル設定**

パスワード 下記レベル設定を変更できないよう、パスワードでロック／解除します。

ロック状態
ロック解除状態

パスワードを登録／解除するには、[数字ボタン]で４桁の数字を入力後[決定]ボタンを押してください。

レベル設定 DVDに設定された視聴レベルを管理し、本機器で制限をかけます。

レベル 1：Kid Safe
レベル 2：G
レベル 3：PG
レベル 4：PG_13
レベル 5：PG_R
レベル 6：R
レベル 7：NC_17
レベル 8：Adult

工場出荷時設定 「はい」を選ぶと、すべての設定が初期値に戻ります。

10. 早送り／巻戻し(サーチ)

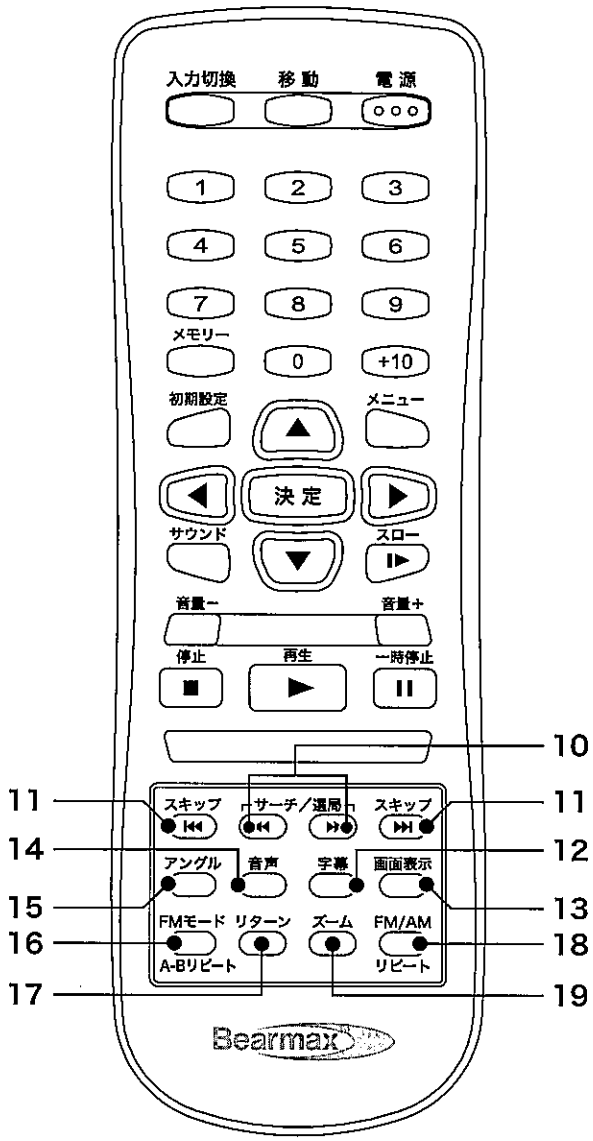
① 再生中に押すと、早送りもしくは巻戻し再生をします。
② 押すごとに、2・4・8・20倍の早さに変わります。
③ 早送りもしくは巻戻し中に再生ボタンを押すと、通常の再生モードに戻ります。

11. スキップ

再生中もしくは一時停止中に、前後いずれかの[スキップ]ボタンを押すと、一つ前もしくは次のチャプター/トラックにスキップして再生します。

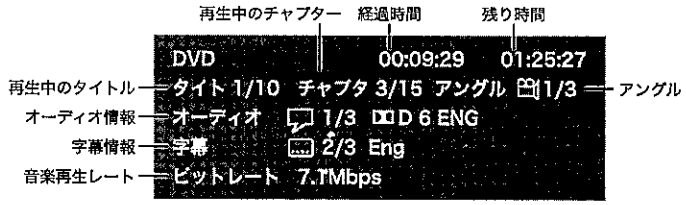
12. 字幕切換*

[字幕]ボタンを押すごとに字幕の切換ができます。



13. 画面表示

① 一度[画面表示]ボタンを押すと、経過時間と残り時間が表示されます。
② もう一度押すと、下図のように現在の設定が表示されます。



③ 再度押すと元の状態に戻ります。

14. 音声切換

【DVDの場合】
音声切換ボタンを押すごとに、オーディオ出力チャンネルを順に選択します。
【VCD/CDの場合】
音声切換ボタンを押すたびに「ステレオ」、「左側モノ音」、「右側モノ音」に音声出力が切り換わります。
※この機能が含まれていないディスクでは"⃠"が表示されます。

15. アングル切換*

連続してボタンを押すとカメラアングルが切り換わります。
※この機能が含まれていないDVDでは使用できません。

16. A-Bリピート再生

① チャプター/トラック再生中に[A-Bリピート]ボタンを押すとAポイント(始点)を記憶します。
② 再び同ボタンを押すと、Bポイント(終点)を記憶します。
③ 再度同ボタンを押して機能をオフにするまで、A-B間の再生を繰り返します。

17. リターン*

初期設定画面から、元の画面に戻ります。

18.リピート再生

【DVDの場合】
[リピート]ボタンを押すごとに、「チャプター繰り返し(表示:チャプター)」→「タイトル繰り返し(表示:タイトル)」→「繰り返しなし(表示:OFF)」と切り換わります。
【VCD/CDの場合】
[リピート]ボタンを押すごとに、「全曲繰り返し(表示:ALL)」→「1曲繰り返し(表示:1)」→「繰り返しなし(表示:OFF)」と切り換わります。

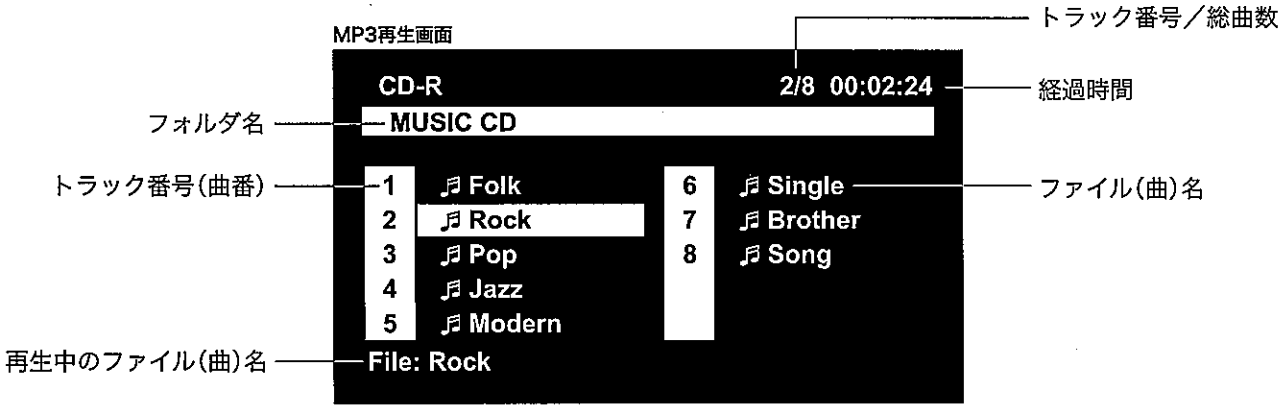
19. ズーム*

① [ズーム]ボタンを押すごとに、3段階に映像を拡大できます。
② ナビゲーションボタンで画像を移動できます。

***マークのついた機能は、VCD/CDではご利用になれません。**

MP3を再生するには

① 本体前面の[FUNCTION]ボタンもしくはリモコンの[入力切換]ボタンを押して、「DVD」に合わせます。
② ディスクドアを手前に開き、ディスクを「パチッ」と音がするまではめてセットし、ディスクドアを閉じます。
③ 画面に「読み込み中」(表示ウィンドウには「LOAD」)が表示された後、自動的に順に再生が始まります。
④ [方向]ボタンと[決定]ボタンで自由に曲を選んで再生できます。

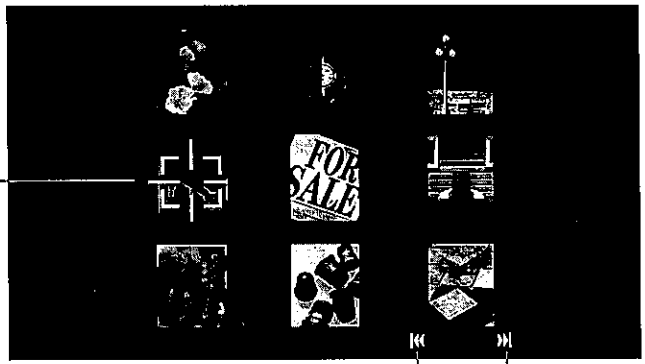


写真データ(JPEG)を再生するには

① 本体前面の[FUNCTION]ボタンもしくはリモコンの[入力切換]ボタンを押して、「DVD」に合わせます。
② ディスクドアを手前に開き、ディスクを「パチッ」と音がするまではめてセットし、ディスクドアを閉じます。
③ 画面に「読み込み中」が表示された後、自動的に順に再生が始まります(スライドショー機能)。
④ [メニュー]ボタンを押すことで、最高９枚の写真を一覧できます(サムネール一覧機能)。
[方向]ボタンと[決定]ボタンでカーソルを移動させ、自由に写真を選んで再生できます。

スライドショー再生画面

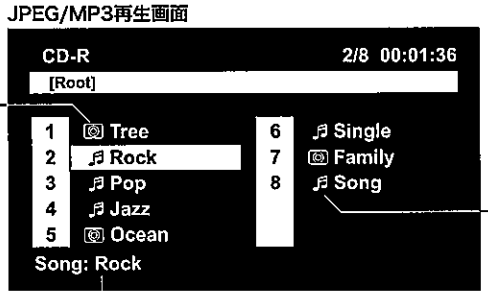
サムネール一覧画面



写真／音楽ファイルが混在したディスクの再生

写真ファイルと音楽ファイルが混在した
ディスクも再生できます。

JPEG/MP3再生画面



・上記と同様に、自動的に順に再生されます。
・[方向]ボタンと[決定]ボタンで自由にファ

ラジオを聴く

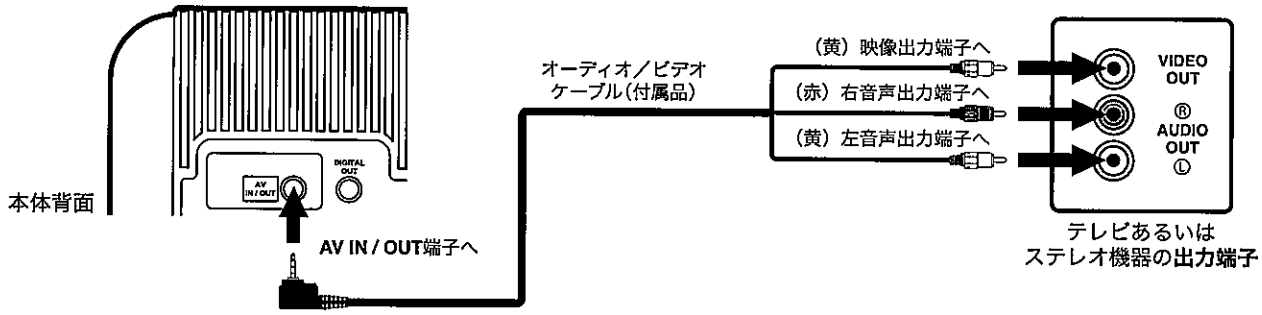
① 本体前面の[FUNCTION]ボタンもしくはリモコンの[入力切換]ボタンを押して、「TUNER」に合わせます。
② [FM/AM]ボタンで、お好みの方に合わせます。(本体下部の表示ディスプレイをご覧ください)。
③ [選局]ボタンあるいは[スキップ]ボタンを長押し(約2秒)することで、自動的に周波数を合わせ、受信します。

【チャンネルを登録する】

① [FM/AM]ボタンで、お好みの方に合わせます。(本体下部の表示ディスプレイをご覧ください)。
② これから登録するチャンネルの[数字]ボタンを押します。
③ そのチャンネルへ放送局を登録します。[選局]ボタンあるいは[スキップ]ボタンで受信する周波数を合わせてください。(長押し(約2秒)すると自動的に放送を拾い、受信します。)
④ [メモリー]ボタンを2度押し、登録します(最大20チャンネル)。
⑤ 次回から[数字]ボタンで選局していただけます。

外部機器から映像・音声を入力する

① 下図の通り外部機器と接続します。



② 本体前面の[FUNCTION]ボタンもしくはリモコンの[入力切換]ボタンを押して、「AV IN」に合わせます。
③ 接続した機器を再生します。

テレビを観る

① 本体前面の[FUNCTION]ボタンもしくはリモコンの[入力切換]ボタンを押して、「TV MODE」に合わせます。
② 本体前面の[MODE]ボタンを押した後、[CHANNEL]ボタンで「AIR(地上波)」か「CABLE(ケーブル放送)」を選択し、[SET]ボタンを押します。
③ [CHANNEL]ボタンで「YES」を選択し[SET]ボタンを押すと、自動選局を始めます(20~30秒程かかります)。
④ 次回から本体の[CHANNEL]ボタンやリモコンの左右[方向]ボタン、あるいはリモコンの[数字]ボタンで選局していただけます。(1~9チャンネルは[数字]ボタンをそのまま押してください。10チャンネル以上は[+10]ボタンを数回押して10の位を決定した後、1~9の[数字]ボタンで1の位を決定ください。)

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、この表で症状をお確かめください。
これらの処置をしても直らない場合やこの表以外の症状は、総発売元㈱クマザキエイムにご相談ください。

こんなときは		ここをご確認ください	処置	参考ページ
全体に共通	電源が入っているのに音が出ない。 再生中に音が出なくなった。	電源プラグやスピーカーコードがはずれていませんか。	電源プラグやスピーカーコードを正しく接続してください。	8
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離してください。	–
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の＋・－が逆になっていませんか。	＋・－を正しく入れてください。	7
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換してください。	7
ディスク（DVD/CD）	テレビに画像が映らない。 画面サイズがおかしい。	テレビのビデオ出力は正しいですか。	本機の接続に合わせて、テレビのビデオ入力を切り換えてください。	–
		スクリーン切換スイッチは正しく設定されていますか。	本体右側面にあるスクリーン切換スイッチを適切な画面サイズに設定してください。	6
	ディスクを入れても表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外のディスクを使用していませんか。	規格に適合したディスクと取り替えてください。	3～4
		本機で再生できるディスクですか。	ディスクのジャケットを確認してください。	3～4
		視聴レベル制限しているディスクではありませんか。	初期設定のレベル設定の項目を確認してください。	11
		寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約１時間待ってから使用してください。	4
	特定の個所が正常に再生しない。 操作してもうまく働かない。	ディスクが汚れていませんか。	柔らかい布などで拭いてください。	4
		TVに“入力無効”が表示されていませんか。	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	–
	音声言語、字幕言語が切り換わらない。 アングルを変えられない。	再生中のディスクに、複数の言語や字幕、アングルが記録されていますか。	ディスクのジャケットを確認してください。	3
	外部機器で5.1ch音声がうまく再生されない。	初期設定の「デジタル出力」を確認してください。	「デジタル出力」の項目を変更してみてください。	11
ラジオ／テレビ	放送がうまく受信できない。 雑音、ひずみが多い。	アンテナは接続していますか。	アンテナを接続してください。	8
		近くに大きなビルや山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみてください。	–
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみてください。	–
		TV、ビデオデッキ、パソコン、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切ってください。	–
		携帯電話の充電を近くでしていませんか。		
		アンテナ線が電源コードに接近し	アンテナ線と電源コードを離して	

主な仕様

●映像表示：TFT駆動方式 4.5インチ高解像度カラーLCD
●受信チャンネル：(VHF)1～12ch、(UHF)13～62ch
●受信周波数
　FM：76-108MHz
　AM：531-1602KHz
●アンテナ
　FM/TV：F端子 ワイヤーアンテナ
　AM：ループアンテナ
●定格最大出力：30W+30W RMS
●電　源：AC100V 50/60Hz
●消費電力：75W
●最大外形寸法：444(W)×264(D)×185(H)mm
●質　量：（約）6.2kg
●付属品：リモコン／オーディオ/ビデオケーブル
　FMアンテナ/AMループアンテナ
　リモコン用単４乾電池　２本

保証とアフターサービス

保証書は必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」などの記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。
お読みいただいた後は、大切に保管してください。

保　証　書　　TV付DVDミニコンポ MVS6950T

本商品が故障した場合は、下記に明示した期間、及び条件の下において無料修理あるいは交換をいたします。

商品名	TV付DVDミニコンポ MVS6950T
保証期間	お買い上げ日から１年間　（お買い上げ日　　年　　月　　日）
お買い上げ店	
お客様お名前	
ご住所	
お電話番号	
故障の症状	

[無料保証規定]
・正常な状態（取扱説明書に従った状態）で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は交換させていただきます。
・保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
・故障の場合は本保証書に状況をご記入いただき、商品と一緒にお送りください。
・使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
・お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源（電圧、電流、周波数）による故障および損傷は保証の対象外となります。
・保証書にお買い上げの年月日、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
・この保証書は日本国内においてのみ有効です。
・この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。

輸入・総発売元：
株式会社 クマザキエイム
〒222-0013　横浜市港北区錦が丘12-17
TEL ：045-401-7486
FAX ：045-435-0057
E-mail ：info@kumazaki-aim.co.jp
URL：http://www.kumazaki-aim.co.jp